



Press Information

VPR15-028

2015 年 3 月 9 日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 世界ラリー選手権(WRC)で開幕 3 連勝

リタイア続出の「ラリー・メキシコ」で盤石の強さを発揮し 1 位と 3 位を獲得



フォルクスワーゲンは、ラリー競技の最高峰「FIA 世界ラリー選手権(通称:WRC)」の 2015 年シーズン第 3 戦「ラリー・メキシコ」に市販車をベースとした 3 台の「ポロ R WRC」で参戦、フランス人のセバスチャン オジェ選手が開幕 3 連勝となる勝利を挙げました。また、ノルウェー人のアンドレアス ミケルセン選手も 3 戦連続での 3 位表彰台を獲得しました。

2015 年 3 月 5 日(木)～3 月 8 日(日)にかけて開催された「ラリー・メキシコ」は、メキシコ中部のレオンを拠点とするグラベル(未舗装路)ラリーです。最高到達地点は 2737m という随一の高地ラリーであり、そのためエンジン出力は 20% 近くの低下を余儀なくされます。競技区間 (スペシャルステージ、通称:SS) は 21、SS 距離 395.21km、総走行距離 998.66km で行われました。

5 日(木)の夜、世界遺産にも指定されているグアナファト市内でセレモニアルスタートを行った選手たちは、市街地の SS1、ミニサーキットの SS2 を走行。この時点で僅差ながらオジェ選手が首位を奪いました。6 日(金)からは本格的な SS がスタートしましたが、先頭走者となるフォルクスワーゲン勢は砂利掻き役となり不利が予想されました。しかし 3 人のドライバーは、多くのライバルがアクシデントで脱落するなか、走行順の不利をはね返す快走を見せ、金曜日を終えた段階でオジェ選手が首位、ヤリ-マティ ラトバラ選手が 2 番手、ミケルセン選手が 4 番手と上位を占める強さを発揮しました。続く 7 日(土)も、オジェ選手は危なげのない走り首位を堅持。一方、この日の序盤で総合 2 番手のラトバラ選手がリタイアを喫し、ミケルセン選手が表彰台圏内の 3 番手に浮上しました。

競技最終日の 8 日(日)は、わずかに 3 箇所のみ。そのうちひとつは 55.82km という大会最長の SS です。前を行くライバルと 4.5 秒差のミケルセン選手は、ここで逆転を期してアタックしたもののミスもありそれは叶わず。一方、首位のオジェ選手は最終 SS のパワーステージでトップタイムを獲得し、通算 27 度目となる WRC 勝利を決めました。オジェ選手は開幕 3 連勝、そして「ラリー・メキシコ」で 3 年連続となる勝利を果たし、ドライバーズ選手権で早くも独走状態となりました。また、ミケルセン選手も 3 位表彰台を獲得。さらにパワーステージで 2 番手となり、ポイントを伸ばしています。

この結果、フォルクスワーゲン・モータースポーツはマニファクチャラーズ選手権ランキングでさらにリードを広げました。ドライバーズ選手権ランキングもオジェ選手とミケルセン選手が 1-2 番手を占めています。次戦は 4 月 23 日(木)～26 日(日)の第 4 戦「ラリー・アルゼンチン」です。

■フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「メキシコで3年連続の勝利は最高の結果です。オジェ選手はタイヤのマネジメントも完璧でしたし、ミケルセン選手も2度目のメキシコながら、いい走りを見せたと思います。ラトバラ選手も諦めずに走り切ったことでマニファクチャラーズポイントを獲得し、チームに貢献してくれました」

■カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果:総合1位

「キャリアのなかでもベストな勝利のひとつです。私とジュリアン(イングラシア)にとって、まさに完璧な週末でした。ポロR WRCにはなんの不安もなく、チームも素晴らしい仕事してくれました」

■カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果:総合15位

「ドライビングのリズムをうまくつかむことができませんでした。サスペンションを壊してしまい、実質的に終わってしまいましたが、次戦アルゼンチンに向けて気持ちを切り替えて臨みたいと思います」

■カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果:総合3位

「メキシコのSSの経験は少ないので、ミスしないことを目標に慎重に走りましたが、3位表彰台と2点のボーナスは素晴らしい結果です。ドライバーズ選手権で2番手となったのもうれしいですね」

■ FIA 世界ラリー選手権 第3戦ラリー・メキシコ 最終結果

1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	4時間 19分 13秒 4
2. マッズ オストベルグ/ヨナス アンダーソン(シトロエン)	+1分 18秒 8
3. アンドレアス ミケルセン/オーラ フローネ(フォルクスワーゲン)	+1分 25秒 1
15. ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+48分 48秒 6

■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(第3戦終了時点)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	99
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	75
3. Mスポーツ・ワールドラリーチーム	48
4. シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム	42
5. ジポカー・チェコ・ナショナルチーム	20
6. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	15
7. ヒュンダイ・モータースポーツ N	3
8. FWRT	1

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第3戦終了時点)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	81
2. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	47
3. ティエリー ヌービル(ヒュンダイ)	35
4. マッズ オストベルグ(シトロエン)	32
5. エルフィン エバンス(Mスポーツ)	26
6. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	19